



旭山記念公園情報2021年春

●レストハウス 2021年4月24日(土)オープン!

旭山記念公園レストハウスは、コーヒー、軽食、ソフトクリームなどをご用意して皆様のお越しをお待ちしております。11月3日まで無休、営業時間10時～17時です。

●噴水は、コロナ禍の状況を鑑み、ライトアップも含め当面運転を停止します。ご了承ください。

旭山夏鳥渡来情報2021年春

春は野鳥愛好家がわくわくそわそわする季節。2021年春の夏鳥渡来情報です。

なお、一部の鳥は冬の間も観察されましたが、ここではあくまでもレギュラーな動きとして話しています。

※は旅鳥もしくは旭山では短期間滞在(通過)する鳥です。

●到着済み(カッコ内の数字は昨年より何日「早」いか「遅」いか)

- ★キジバト 3月25日(3日早) ★ベニマシコ※ 3月27日(14日早)
- ★ホオジロ 3月29日(7日遅) ★ヤマシギ 4月1日(3日遅)
- ★モズ 4月1日(6日遅) ★ルリビタキ※ 4月8日(9日早)
- ★キセキレイ 4月12日(5日遅) ★ウグイス(右写真) 4月14日(7日遅)
- ★メジロ 4月16日(5日早) ★アオジ 4月17日(1日早)



●到着予想日(今年の到着日)

- ★カシラダカ※ 4月20日 ★クロツグミ 4月23日
- ★シロハラ※ 4月25日 ★ヤブサメ 4月26日 ★オオルリ 4月28日
- ★クロジ※ 4月28日 ★コマドリ※ 4月29日
- ★マミチャジナイ※ 4月30日 ★コルリ 5月1日 ★ツツドリ 5月1日
- ★センダイムシクイ 5月1日 ★エゾムシクイ※ 5月3日
- ★ノゴマ※ 5月3日 ★ビンズイ※ 5月4日
- ★キビタキ(左写真) 5月4日 ★アオバト 5月5日

- ★コサメビタキ 5月14日 ★ムギマキ※ 5月15日 ★オオムシクイ※ 5月23日

その他にトラツグミ(4月上～中旬)、ノビタキ※(4月中～下旬)、アカハラ(4月下旬)が見られます。

夏鳥の渡来はその年の小気候の影響で最大3、4日前後することがありますが、いつ頃来るかを頭に入れておくと観察・撮影がより楽しくなります。

5月上旬は、夏鳥が揃ってくる一方、アトリ、イスカ、ウソ、マヒワなどアトリ科の冬鳥もまだ残っていることがあり、1年でいちばん多くの鳥が見られる時期です。

謎のミヤコザサ

旭山記念公園内には少なくとも2種類の笹があるのをご存知ですか。

園内の林床を広く覆っているのがチマキザサ(右写真上)。人の背丈ほどに高くなり、葉は大きめで緑一色。自生種で、粽＝「ちまき」を作るのに使います。

もう1種類がミヤコザサ(右写真下)。背丈が人の腰より低く、葉に白い縁取りがあるのが特徴。園内で5か所の小群落を確認していますが、まだあるかもしれません。

このミヤコザサ、北海道では積雪の少ない太平洋側や十勝地方に多く見られますが、札幌では自生しておらず、本来は見られないはず。

では、なぜ旭山にミヤコザサがあるのか?

ミヤコザサは葉がきれいなため、公園が造成されたかそれ以前の時期に人為的に植えられたのが残っているものと推測されます。

つまり、旭山のミヤコザサは、自然の中に残る人間活動の痕跡なのです。

B面の地図に○で記した場所にミヤコザサがあります、ぜひご覧ください。

なお、笹に近づくとマダニが付くことがあるので、くれぐれもご注意ください。



旭山野鳥メモ② クロツグミ

クロツグミ Grey Thrush *Turdus cardis* スズメ目ヒタキ科

夏鳥。4月中～下旬に渡来。雄は腹部白地に黒い小さな斑入りの他は全身黒くそれが名前の由来だが、英語では“grey”＝灰色となっている。そしてなんといっても橙色の脚と嘴とアイリングが目立つ。雌は背中側一面灰褐色、腹面は白に小さな斑で脇に橙色ワンポイントはあるがやはり地味な色合い。世界では極東地域だけで繁殖。

囀りは美しくCMなどでよく使われるが、決まったフレーズを持たずアドリブで歌う。それじゃ分らないと言われそうだが、声がかとにかききれいで長く歌うのですぐ分かる。他の鳥の鳴き真似も入れ、ウグイスの真似ははっきり違うがイカルは上手く真似て騙されることもある。

5月中はいつも囀りが聞こえるが6月にはいったんやみ、7月にまた聞かれるようになる。高い木のでっぺん付近で囀るため存在には気づきやすいが、観察や撮影は少々大変。でも地面によく採餌に降りるのでその場所を探していると案外近くで撮れる。旭山では夏に毎年幼鳥が観察されており雌に似た色合い。

ビートルズに歌われた Blackbird は近縁種のクロウタドリ。日本では迷鳥、一度ここで見てみたい。



4月の野鳥トピックス

野鳥についての詳しい情報はホームページの野鳥情報をご覧ください。森の家までおたずねください。

- ★シマエナガ＝4月は巣作りが終わり、産卵そして抱卵に入ります。この時期にシマエナガに出会ったら、その場だけで観察・撮影し、行動を追わないようお願いいたします。その他の鳥についても同様に。
- ★ベニヒワ＝4月に旭山で観察されたのは初めて。いつまでいるか？
- ★ウソ＝5月上旬まで見られ、桜とウソも観察・撮影できます。
- ★クマゲラ＝毎年4月は園内での観察機会が多いですが今年はどうか？
- ★ヤマゲラ＝この時期は学びの森付近で見られる機会が多いです。
- ★シジュウカラ、ハシブトガラ、ヤマガラ＝求愛、巣作りに忙しい時期です。



旭山記念公園見どころマップ2021年4月



エゾエンゴサク
園内には少ない
都市環境林に
小群落



チゴハヤブサ
今年はあるか？



チゴハヤブサ
今年はあるか？



チゴハヤブサ
今年はあるか？



「アカゲラ通信」 第90号 2021(令和3)年4月15日発行
(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所
<https://www.sapporo-park.or.jp/asahiya/> 〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目
電話 011-200-0311 (金・土・日・祝日 10時～16時) FAX 011-200-0351